

文教厚生委員会 会議録（要点筆記）

令和5年12月15日
午前 9時50分 開会
午前10時00分 閉会
場 所： 全員協議会室

○坂井美穂委員長

ただ今から、文教厚生委員会を開会します。議事を行います。

議案第84号「令和5年度半田市一般会計補正予算第7号中当委員会に分割付託された案件」を議題とします。当局の補足説明を求めます。

○長谷川信和生活援護課長

補足説明はありません。

○小林徹子ども育成課長

補足説明はありません。

○坂井美穂委員長

補足説明は終わりました。ただ今から質疑を行います。ご質疑ありませんか。

○渡邊昭司副委員長

いろんな事業が考えられる中で、今回の2事業を選んだ理由は何ですか。

○伊藤奈美子ども未来部長

限られた財源の中で検討する中で、子育て世帯への支援が必要であると考えました。

○渡邊昭司副委員長

以前だと、給食費の支援もあり、給付対象も限られていましたが、今回は、中学生までの子育て家庭全世帯に向けて支援するという方針で、こういった事業を選んだという理解でよろしいでしょうか。

○伊藤奈美子ども未来部長

給食費ですと、小中学生に限られてしまう中で、受給者側としても、一律に年齢を区切って現金給付をした方が利便性が高いという点、また、年代によって支援に差が出てしまうのも問題ですので、今回は、速やかにお支払したいという思いもあり、現金給付とさせていただきます。

○渡邊昭司副委員長

電算処理システム改修委託料について、改修の内容はどのようなようですか。

○伊藤奈美子ども未来部長

受給者の重複を防ぐ必要もあることから、児童手当のシステムをベースに、児童手当受給者以外の支給対象者のデータを登録できる当該給付金専用のシステムを新たに作るものです。

○加藤美幸委員

子ども応援給付金給付事業について、対象児童を中学生までとした理由は何ですか。

○伊藤奈美子ども未来部長

栄養バランスの取れた食事をすることはすべての世代にとって必要ですが、限られた財源の中で、発育に影響を受ける中学生までを今回の食費等の支援の対象としました。

○加藤美幸委員

支給額を6,000円とした算定根拠は何でしょうか。

○小林徹子ども育成課長

定額減税の実施が予定される2024年6月までの6か月間について、子ども一人あたりひと月1,000円の家計支援を行うものです。

○坂井美穂委員長

他にご質疑はありませんか。

【「なし」との声あり。】

○坂井美穂委員長

ないようですので、これで質疑を終わります。お諮りします。ただ今から討論を省略して、採決に入ります。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○坂井美穂委員長

ご異議なしと認めます。ただ今から採決を行います。本案は、原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○坂井美穂委員長

ご異議なしと認めます。よって、議案第84号「令和5年度半田市一般会計補正予算第7号中当委員会に分割付託された案件について」は、原案のとおり可決しました。

○坂井美穂委員長

以上で、当委員会に付託されました議案は、審査を終了しました。なお、委員長報告は、正副委員長にご一任いただきたいと思いますと考えますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

○坂井美穂委員長

ありがとうございました。それでは、ほかに何かありましたらお願いします。

【「なし」との声あり。】

○坂井美穂委員長

ないようですので、本日の委員会はこれにて閉会いたします。

閉会 午前10時00分